

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	保健福祉部		課名	相模湖福祉課		課長名 井上 明
平成19年度部名	福祉部		課名	相模湖福祉課		課長名 井上 明
事務事業名	自主事業費(趣味の教室・生きがい大学)					
予算上の事務事業名	自主事業費					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	11220	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	該当なし					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模湖町生きがい大学開催要領					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
高齢者の生きがいと健康づくりを進め、家に閉じこもることなく、地域での社会参加を促進し、いつまでも生き生きと生きがいを持って、心豊かに充実した生活を創造できるよう、生涯学習の一環として開催する。				おおむね60歳以上の者及び老人クラブ会員、また、老人福祉増進目的で市長が認めた者		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
趣味の教室を、相模湖町近隣の指導者をお願いし、カラオケ、書道、水彩画、ダンベル体操などの10教室を、毎月約2回、老人福祉センターの会議室及び大広間で開催した。また、生きがい大学を3学部設けて、教養学部・園芸学部を老人福祉センターで、保健体育学部を林間公園で開催した。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	あじさい大学					
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	120	126	126	
一般財源	0	0	120	126	126	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	1,970	1,970	1,970	
事業コスト合計	0	0	2,090	2,096	2,096	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	生きがい大学・趣味の教室			対象名称 と単位	参加者(人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	120	126	126	
対象数	0	0	2,473	2,500	2,500	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	49	50	50	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.04	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	参加者の対前年度対比		指標式と指標の説明	本年度参加者数/前年度参加者数×100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	100.4		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.4		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者の対前年度対比		指標式と指標の説明	本年度参加者数/前年度参加者数×100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	100.4		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.4		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		高齢者の生きがい対策として、必要な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
講義内容等の向上、年毎の変化を図り、より多くの高齢者の参加をうながしていく。					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			